

あさざいだより

令和 2年 4月 春号 No.26

安佐在宅診療クリニック

〒731-0103

広島市安佐南区緑井6丁目 37-5

TEL 082-831-6306

FAX 082-831-6307

http://asa-zaitaku.jp/



新年度となり、本来なら心新たに頑張ろうという時期ですが、わが国を含む世界は新型コロナウイルス感染症の拡大という難局に直面しており、前途多難な年度始めとなりました。感染拡大は留まるところを知らず、世界的にも、国内、県内においても状況は厳しくなるばかりです。先月まではどこか対岸の火事くらいで見守っていた地方もいよいよ感染者が増え始め、広島県でも4/10に外出自粛の要請が出ました。いっどこで感染するかわからない不安を抱えながら、外出できない不便で窮屈な生活ですが、これで少しでも感染爆発が抑えられ、医療崩壊を防ぐことができると祈るばかりです。経済に与えた影響も多大で、すでに職を失ったり、明日の生活にも不安を抱える人が出てきており、日本や世界の今後が心配です。未曾有の事態だけにいつ収束するのか、先が見えない不安にかられますが、一人一人が収束に向けての担い手であることを自覚し、責任ある行動を取っていきましょう。「換気が悪く」「人が密に集まって過ごす空間」、そして「不特定多数の人が接触する恐れが高い場所」を避けた外出行動をしていきましょう。止まない雨はないはずなので、またみんなで笑って、大好きなカープや心待ちにしているオリンピックを心から楽しめる時が一刻も早く戻ることを願って、今は頑張りましょう。私たちも患者様に不便をおかけすることもあるかもしれませんが、十分に感染には気を付けて診療を行っていきます。

呼吸器豆知識

今回は新型コロナウイルス感染症にちなんで少し感染症についてお話しします。私たちがよく一般的にかかる感染症には大きく分けると細菌とウイルスがあります。他にもカビや寄生虫などもありますが、一般的によくかかる感染症としてはこの2つです。細菌はよく「ばい菌」と私たちが言うもので、たとえば気管支炎や肺炎を起こす肺炎球菌や、膀胱炎を起こす大腸菌、食中毒を起こすブドウ球菌やサルモネラ菌などは細菌になります。細菌は自分自身で増殖することができ、どんどん増殖したり毒素を出したりしてどこでも増えるので、食べ物が腐るのもそのためです。もちろん体内でも増えるため、これが体に入って増えすぎれば肺炎や膀胱炎などを起こしてきます。ただこれには細菌の細胞膜を壊したり増殖を抑える抗生剤が効くので、一気に細菌を叩いて減らすことができ、効けば治るのも早く、多種多様な抗生剤がある今の時代にはあまり怖くなくなりました。一方ウイルスは自分で毒素を出したり増殖したりはできず、体の中に入って細胞に侵入することで増殖を始めるので、壊す細胞膜もなく人の細胞に寄生しているために効く薬はほとんどありません。よって体に侵入したウイルスは自分自身の免疫で治すしかないのです。ウイルス感染症の症状は、ウイルス自身にやられているというより、体に寄生したウイルスを自分の体が排除するために戦っている反応で、治るまでに2週間くらいの日にちが必要となります。はしかや水疱瘡、おたふく風邪、風疹、インフルエンザなどはウイルスなので、これらにかかった時も、熱には解熱剤、下痢には整腸剤、嘔吐には吐き気止めなど、症状を少し緩和する薬だけ飲んでひたすら治まるのを待つしかないのもそのためです。このウイルス排除のための体の反応が激しく出すぎた人が今回亡くなっている人たちです。肺炎で亡くなっている人たちは、ウイルスを排除するための攻撃物質を激しく出し過ぎて、肺の中の細胞が一気に壊れて焼け野原になり、ウイルスは居なくなっても肺自体が機能を失ってしまって呼吸ができなくなり亡くなっているのです。元々煙草で肺の一部が壊れていた人はよりその状況が起きやすくなります。広く壊れる前にいかに食い止めるかが救命の鍵です。ウイルス感染症は日にちが治療ですが、治療薬はなくてもかからないようにしようというものがワクチンです。病原性を弱めたウイルスを飲ませて体の中に入れることでそのウイルスに対する抗体を作らせ、次にそのウイルスが入ってきた時にはその抗体がブロックしてくれてかからないようにしてくれるものです。このワクチンと治療薬が出てくれば怖い感染症ではなくなりますが、そこまでが頑張り時です。今 BCG 接種国では死者が少ないので BCG が効くのではないかという説がありますが、結核は細菌で、抗体を作るウイルスに対する免疫反応とは違うため不思議ですが、あり得なくもなく、各国で研究が始まっているようです。





新型コロナウイルスのために今年はお花見とはいきませんでした。日本では桜を愛でるばかりではなく、「桜餅」として舌でも味わう楽しみもありますね。この「桜餅」ですが、関東と関西で姿形が異なるのをご存じでしたか？関東では「長命寺」、関西では「道明寺」と呼ばれ親しまれているそうで、由来を調べてみました。



関東の桜餅は「長命寺」と呼ばれ、小麦粉などを薄く焼いた生地で餡を巻いたクレープ状です。享保2年に、隅田川沿いにある長命寺の門番だった山本新六さんが桜の葉の掃除に悩まされ、その桜の葉を塩漬けにして薄い皮に餡を包んで売ったところ評判になったのだそうです。



関西の桜餅は「道明寺」と呼ばれ、道明寺粉を蒸した生地で餡を包んだまんじゅう状です。こちらの方が私たちに親しみがありますね。つぶつぶとした食感が特徴の道明寺粉は、もち米を蒸して乾燥して粗挽きしたもので、大阪の道明寺で保存食として作られたのが起源だそうです。



～ おしらせ ～

当院では「在宅緩和ケア充実診療所・病院加算」を算定させていただくことになりました。「在宅緩和ケア充実診療所・病院加算」は、厚生労働省が定めた下記の算定要件を満たした看取り・十分な緩和ケアを提供する体制が整っている医療機関が算定できることとなっております。

2020年3月診療分の医療費より算定させていただきますので、どうぞご理解のほど賜りますようお願いいたします。

算定要件

- 機能強化型の在宅療養支援診療所の届出を行っていること。
- 過去1年間の緊急往診の実績を15件以上かつ在宅での看取りの実績を20件以上有していること。

緊急往診実績	28件
在宅での看取りの実績	21件
- 末期の悪性腫瘍等の患者であって、鎮静剤の経口投与では疼痛が改善しないものに対し、患者が自ら注射によりオピオイド系鎮痛剤の注入を行う鎮静療法を実施した実績を、過去1年間に2件以上有すること。

自己注射による鎮痛療法の実績	6件
----------------	----
- 「がん等の診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修会の開催指針に準拠した緩和ケア研修会」を修了している常勤の医師がいること。

在宅緩和ケア充実診療所・病院加算の点数は、以下の通りです。

- 緊急、夜間、休日または深夜の往診料に対する加算 100点(1000円)
- 計画的な医学管理の下での定期的な訪問診療に対する在宅時医学総合管理料に対する加算 400点(4000円)
- 在宅ターミナルケアに対する加算として 1000点(10000円)

※患者様のご負担額は、自己負担割合に応じて上記費用の1割または2割、3割分です。

たとえば、休日往診の場合の加算の費用は、1割負担の方は100円、3割負担の方は300円です。

在宅時医学総合管理料の加算では、1割負担の方は400円、3割負担の方は1200円です。

まだ寒く感じる日も多くあります。体調管理にはどうぞお気をつけください。
 外来通院が難しくなった、自宅でゆっくり療養したいなど、在宅療養をお考えの方がいらっしゃいましたら、お気軽にご相談ください。(窓口:杉原)